

講談師・人間国宝

# 神田松鯉

かんだ しょうり

1942年生まれ。群馬県出身。前橋商業高校卒業後、演劇界に入り役者修業を経て、1970年講談界に転じ、二代目神田山陽に入門。前座名陽之介。1973年二ツ目に昇進して小山陽と改名。1977年小山陽のまま真打に昇進。1992年三代目神田松鯉を襲名して現在に至る。若いころから講談のバックボーンと言われる長篇連続講談の復活・継承に積極的に取り組み、現在は日常の寄席出演はもとより、古典講談の保存と後進の育成に努めている。

## 【主な受賞歴】

- 1977年 第1回 講談奨励賞  
第6回 放送演芸大賞ホープ賞  
1988年 第43回 文化庁芸術祭賞  
2019年 重要無形文化財保持者（人間国宝）認定  
2020年 板橋区名誉区民賞  
2021年 旭日小綬章  
板橋区登録無形文化財認定  
2022年 第38回 浅草芸能大賞  
前橋市功労者表彰

## 【所属】

- 日本講談協会名誉会長  
落語芸術協会相談役  
日本ペンクラブ企画事業  
委員会委員  
俳人協会評議員

## 菊池夏樹

作家・菊池寛直孫  
菊池寛記念館名誉館長

1946年、東京都生まれ。父は菊池英樹（菊池寛の長男）。立教大学法学部卒業後、69年、文藝春秋入社。池波正太郎の『鬼平犯科帳』シリーズをはじめ、井上ひさし、松本清張、渡辺淳一ら100名近くの作家・漫画家を担当。現在、菊池寛記念館名誉館長、日本ペンクラブ企画事業委員会副委員長、日本文藝家協会会員。

主な著書に『菊池寛急逝の夜』（中公文庫）、『菊池寛と大映』（白水社）、『菊池寛のあそび心』（ぶんか社）など。



撮影者 菊池未尋  
（菊池寛曾孫）

## 菊池寛 (1888-1948)

香川県高松市に生まれる。代表作に「父帰る」「恩讐の彼方に」「真珠夫人」など。『文藝春秋』を創刊し、芥川賞・直木賞を創設するなど、後進の育成にも尽力した。



菊池寛記念館  
Kikuchi Kan Memorial Museum

